

教育委員会会議 令和元年8月定例会 会議録

日 時	令和元年8月28日（水） 13:30 開会 15:55 閉会	会 場	教育委員会室
出席委員	有本 明彦 光岡 宏文 森 尚美 長江 真理子		尾島 邦昭
出席職員	絹田学校教育部長 小坂田生涯学習部長 織田こども保健部長		
	森上学校教育部次長(兼)教育総務課長 久松生涯学習部次長(兼)生涯学習課長		
	今村生涯学習部次長(兼)文化課長 松田学校施設課長		
	河原学校教育課長 森田保健給食課参事		
	大河原図書館長 仁木津山市史編さん室長 木村スポーツ課長		
	小川こども保育課長 廣野教育総務課参事 岡教育総務課主幹		
議 事	案 件	担 当 課	
1.開 会 2.教育長あいさつ 3.会議録署名者 について 4.前回会議録の 承認 5.教育長等の 報告 6.議 事 (1)議 案	平成30年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検・評価報告書について 津山市文化財保存活用地域計画審議会委員の委嘱及び解嘱について 津山市指定重要文化財の指定について	(教育総務課) (文化課) (文化課)	
(2)協 議	令和元年度9月補正予算について 津山文化センター条例の一部を改正する条例について 津山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する 基準を定める条例を一部改正する条例について	(各課) (文化課) (こども保育課)	
(3)報告	定住自立圏形成協定の変更について 令和元年度全国並びに岡山県学力・学習状況調査の結果概要について 津山市特別支援教育就学奨励費支給規則について 津山市公民館文化祭開催日について 二宮公民館の供用開始について つやま西幼稚園の新施設の完成について 令和元年度津山市立図書館概要の配布について 津山市立図書館(本館)特別館内整理期間の休館について 第28回津山加茂郷フルマラソン全国大会開催要項について 台風10号に伴う所管施設の休館等について プログラミング教育の模擬授業について	(教育総務課) (学校教育課) (学校教育課) (生涯学習課) (生涯学習課) (こども保育課) (図書館) (図書館) (スポーツ課) (各課) (学校教育課)	
7.その他 (1)各課からの お知らせ	美作学講座～津山市史関連研究から～について 上廣歴史文化フォーラム「フランス近代史研究の今・む かし」について 安心・安全連携講座「防災講話 警戒レベル4！全員避難 その時あなたは？」について	(文化課) (文化課) (図書館)	

議 事	案 件	担 当 課
(2) 次回定例会の 開催について (3) その他 8.閉会	認知症カフェin図書館について 歴史講座「美作の大庄屋」について 図書館だより9月号について 津山市教育委員会通信9月号について ・津山市教育委員会会議8月定例会の日程について 令和元年9月24日(木)午後1時30分から	(函 書 館) (函 書 館) (函 書 館) (学 校 教 育 課)

傍聴:4名

教育委員会会議 令和元年 8 月定例会 会議録

(13 : 30)

1. 開 会

市民憲章唱和

2. 教育長あいさつ

3. 会議録の署名者の件について

津山市教育委員会会議規則第 15 条第 2 項の規定による。

4. 前回会議録の承認

全員賛成

5. 教育長等の報告

6. 議事

議事進行について(3)報告 プログラミング教育の模擬授業は準備のため 7 その他終了後に行うことを全員一致で可決承認。

(1) 議案

平成 30 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について (教育総務課)

概要説明 (資料 6-1-1)

本日は、点検評価報告書(案)を配布しております。7 月に外部評価委員による評価をいただいている。その後、内容の修正等を行い、外部評価委員、教委委員の総評案を追加したものを作成した。

津山市文化財保存活用地域計画審議会委員の委嘱及び解嘱について (文化課)

概要説明 (資料 6-1-2)

津山市文化財保護委員から 1 名を選出しているが、狩野委員から、岡山県立記録資料館館長の定兼委員に交替する。新しい委員の委嘱期間は前任者の残任期間となり、令和元年 8 月 28 日から令和 4 年 7 月 8 日となる。令和元年 8 月 1 日の文化財保護委員会の中で交代の運びとなった。

津山市指定重要文化財の指定について (文化課)

概要説明 (資料 6-1-3)

津山市文化財保護条例第 3 条の規定により、津山市重要文化財として指定するもの。名称は脇差、種別は重要文化財(工芸品)。沿革としては、この脇差については、1789 年に作られたもので、江戸時代の中期・後期を代表する文人画家として著名な廣瀬臺山の佩刀で、現在は、津山郷土博物館に寄託されている。指定の理由は、沿革で説明したことについて、資料等からも明らかになっているため、今回、市の指定文化財として指定し保存していくもの。今回の指定により市の指定文化財は 155 件になる。

(2) 協議

令和元年度 9 月補正予算について (各課)

概要説明 (資料 6-2-1)

事務局運営費(臨時)の 2,361,000 円は、現在、教育委員会事務局内で数名の病気休職者がおり、既決予算で臨時職員を雇用して対応していますが、今後も病休が継続する見込みであり、臨時職員を雇用するための経費として増額を行うもの。小学校一般管理費(臨時)1,029,000 円は、マルイ・エンゲージメントキャピタルからの寄付金を市内小学校の図書購入に充てるもの。マルイさんの店舗で寄附付商品の購入に対して積立をしている額を定期的にご寄附いただいているもので、この度は、この寄付のほか、来年度から新たに小学校でのプログラミング教育が実施されるにあたっての授業で使用する教材、3,177,000 千円相当のご寄附をいただいている。

小学校不登校対策実践研究事業 460,000 円は、児童に対する登校支援や保護者への相談支援など支援の在り方に関する実践研究事業を行うことにより、長期欠席となっている児童への介入と支援、欠席状態の解消を図るものです。事業費には専門家によるアドバイスや担当者研修会の講師の謝礼などを計上している。生徒指導、不登校対策事業(登校支援員配置事業)322,000 円は、小学校 14 校へ登校支援員を配置するた

めの人件費として計上したものの、この2事業は県の委託事業として実施することから、財源は全額県からの委託金となっている。

鶴山塾管理運営費 2,738,000 円のうち、38,000 円は団体から指定寄附を受けて通塾生活動支援器具等の購入費を計上している。残り 2,700,000 円は、鶴山塾は来年 4 月に移転を予定しており、移転先である旧鶴山幼稚園を、教育相談センター鶴山塾として整備するため、内装、給排水設備、電気設備の改修をするための経費です。財源は、FM 基金を繰り入れる。中央公民館管理運営費、2,100,000 円は、中央公民館の漏水配管の更新を行う費用で、財源は、FM 基金を繰り入れる。地区公民館管理運営費、1,300,000 円は、勝北公民館の空調設備の修繕を行う費用で、財源は、FM 基金を繰り入れる。公民館分館管理運営費、8,000,000 円は、地元払い下げに伴う総社西分館の解体経費及び院庄分館譲渡に伴う補助金で、財源は一般財源。

図書館管理運営事業は、団体から図書購入のため寄付を受けた 20,000 円を図書購入のため予算化した。図書館管理運営事業は、図書館システム構築業務委託料で、財源は一般財源。

指定文化財保存修理事業 3,876,000 円は、国指定有形民俗文化財、田熊の舞台の防災設備小修理、並びに市指定重要文化財、妙願寺庫裏及び客殿の蟻害対策費で、財源は一般財源。箕作旧宅管理運営費 100,000 円は、箕作阮甫旧宅の大屋根瓦の修繕費用で、財源は FM 基金を繰り入れる。津山文化センター施設整備事業 1,456,000 円は、アトライブラリー及び展示ホール展示什器購入経費で、財源は一般財源。津山の歴史資源発信活用事業 3,000,000 円は、写し刀企画展の開催準備委託料で、財源は、地方創生推進交付金 1,500,000 円を繰入れ、一般財源は 1,500,000 円。洋学資料館管理運営事業は、一般からの指定寄付 130,000 円を、備品の購入にあてるもの。

Bリーグホームタウン支援事業費 13,000,000 円は、Bリーグのホームタウンとして整備に必要な、バスケットボールゴール等の器具等の購入にかかる備品購入費及び役務費用で、財源は日本スポーツ振興センター助成金 6,000,000 円と、一般財源 7,000,000 円。アイススケート場管理運営費 17,708,000 円は、アイススケート場管理運営にかかる委託料及び需用費等で、財源は、施設利用料 8,000,000 円をあて、一般財源 8,908,000 円です。

つやま西幼稚園管理運営費（経常）及びつやま東幼稚園管理運営費（経常）については、国の幼児教育・保育の無償化に係る幼稚園保育料減額に係る財源の更正です。幼稚園預かり保育事業は、支援が必要な園児が預かり保育利用を希望したため、特別支援員を加配するための人件費を要求するもの。

津山文化センター条例の一部を改正する条例について（文化課）

概要説明（資料 6-2-2）

消費税増税に伴う条例改正については、議会等に提出済みだが、この津山文化センターについては、現在実施している改修工事により、施設のリニューアルが図られるため、会議室等の配置や面積が変わるということで、来年度の受け付けも考えて今回の提出となった。4 月のリニューアルオープン後の料金につきましては、消費税の改正分に加えて、県内の類似施設と比較する中で、一部料金の見直しを行った。類似施設との比較により料金に変更となる部分は、営利目的の利用（入場料 1,000 円を超えるもの）については、他市と比較して本市の料金が安かったため増額した。冷暖房については、これまでは油を使った冷暖房だったが、リニューアルに伴い電気による冷暖房となることから、他の施設との比較を行い、冷暖房を同額とする見直しを行った。会議室については、配置の関係で面積等の位置が変わっているが、これまでの平米単価で計算して、新しい部屋の面積に対して料金を設定した。展示室、リハーサル室、これに類する部屋の料金についても、これまでの平米単価で計算して、新しい料金を設定している。備品等の料金については今までの単価で消費税分のみ増額となっている。

津山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正する条例について（こども保育課）

概要説明（資料 6-2-3）

子ども子育て支援法及び子ども子育て支援法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、特定教育・保育施設の施設利用負担額の受領方法、食事の提供に要する費用、特定地域型保育事業の利用定員や利用負担額の受領方法を定めるとともに、語句の追加や読み替えを行うもの。食事の提供に関して、副食費の取り扱いについても、第 13 条第 4 項第 3 号で規定しており、国の免除規定に加えて、津山市が保育料を独自減免している第 3 子について、経過措置として副食費を減免する規定（付則 3）を定めている。

(3) 報告

定住自立圏形成協定の変更について（教育総務課）

概要説明（資料 6-3-1）

津山圏域 1 市 5 町（津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町）間で相互の役割分担と連携の

もと、人口の定住に必要な都市機能及び生活機能を確保し、圏域全体の活性化に努め、住民が安心して豊かに暮らし続けることができる定住自立圏を形成することに関して協定を締結して、平成 29 年度から施策に取り組んでいる。今回、奈義町が新たに分野を追加して取り組みたいと希望があり、変更して協定を締結することとなった。10 項目について追加を行う。教育委員会関連では、「特別支援教育推進センター事業」と「不登校児童生徒支援事業」の 2 項目を新たに追加する。具体的には、「特別支援教育推進センター事業」では教育相談や通級指導を相互に連携して各町の方々が利用できる。「不登校児童生徒支援事業」では「鶴山塾」を利用できる。新たに参画することについて、それぞれの議会の議決が必要となるため、この 9 月議会で奈義町を加えるための協定変更の議案を提案するもの。

令和元年度全国並びに岡山県学力・学習状況調査の結果概要について（学校教育課）

概要説明（資料 6-3-2）

岡山県の調査については、小学校 3 年生から 5 年生まで、中学校では 2 年生、3 年生と繋がった学年の調査となっているため、同一集団での経年変化が比較できる部分については、並べて表示している。学力調査結果の概要として、小学校では、3 年生の国語について標準スコア 50 を超えたが、それ以外では全ての学年教科で本市が目標としている標準スコア 50 を下回った。中学校では、全ての学年、教科で標準スコア 50 を超えることはできなかった。しかし、経年変化を見ると、少し差が縮まってきている。中学校で最も課題があると認識している英語については、数学や国語に比べて標準スコアとの差が大きい。学習状況調査結果については、全国学習状況調査の概要では、小学校、中学校共に、「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導」について、各学校が実施したかどうかの回答について、「行っている」と回答した割合が低く、小学校段階からのキャリア教育へ力を入れて取り組む必要がある。岡山県の調査では、「自分にはよいところがあると思う」と肯定的な回答をしている児童生徒の割合が増えており、県との差が縮まっているが、依然として県の平均を下回っており、自己肯定感については課題がある。また、家庭学習時間が少なく、平日、スマホを 2 時間以上使っている割合が、学年が上がるにつれて増えている。これまでの課題と成果として、小学校については補充学習等の取組が定着してきているという良い面があるが、家庭学習等については十分でない。中学校については、数学等について差が縮まっており、津山市独自で取組んでいる基礎問題の成果がみられている。小学校中学校共通の課題は、メディアコントロールについて大きな課題だと認識している。市教委の取組については、重点的な取組として 5 つ上げており、しっかり取り組んでいきたい。また、各学校の取組としては PTA 等との連携を強化していく。

津山市特別支援教育就学奨励費支給規則について（学校教育課）

概要説明（資料 6-3-3）

津山市の小中学校の通常学級に就学する学校教育法施行令第 22 条の 3 に規定する障害の程度に該当すると判断される児童生徒、特別支援学級に在籍する児童生徒、通級指導教室に通級する児童生徒について、特別支援教育就学奨励費の支給について必要な事項を定める。平成 25 年に対象を拡大する通知が国からあり、本市においてもこの度支給規則を定めるもの。

津山市公民館文化祭開催日について（生涯学習課）

概要説明（資料 6-3-4）

令和元年度津山市公民館文化祭開催日は資料のとおり。二宮公民館及び中央公民館については、年が明けてからの開催予定で、日程を調整中のため、開催月のみ記載している。それ以外の公民館では 9 月から 11 月の週末に開催する。

二宮公民館の供用開始について（生涯学習課）

概要説明（資料 6-3-5）

建替えを進めていた二宮公民館については、8 月 18 日につやま西幼稚園と複合施設として落成式を行い、8 月 19 日から供用を開始している。今後 2 期工事を予定しており、旧公民館の解体や周辺整備を行う予定。

つやま西幼稚園の新施設の完成について（こども保育課）

概要説明（資料 6-3-6）

つやま西幼稚園について、二宮公民館との複合施設として 8 月 27 日の始業式から新施設での 2 学期が始まっている。8 月 18 日合同落成式の後、午後から PTA 主催のお披露目会が開催され、併せて一般見学会が開催された。今後は、二宮公民館と複合施設の特徴を活かした運営をしていきたいと考えている。

令和元年度津山市立図書館概要の配布について（図書館）

概要説明（資料 6-3-7）

平成 30 年度の図書館の蔵書や運用状況等を掲載している。津山市立図書館のホームページにも公開している。

津山市立図書館（本館）特別館内整理期間の休館について（図書館）

概要説明（資料 6-3-8）

図書館本館の蔵書点検を行う。点検は 1 冊づつ本の確認を行う。地区館は通常通り開館し、インターネットの蔵書検索等も通常通りご利用いただける。

第 28 回津山加茂郷フルマラソン全国大会開催要項について（スポーツ課）

概要説明（資料 6-3-9）

7 月 23 日に実行委員会が開催され、来年度の第 28 回津山加茂郷フルマラソン全国大会の開催が決定された。来年度 4 月 19 日（日）に雨天決行で開催する。フルマラソンについて変更はないが、ミニマラソンは、これまで、男子の部、女子の部であったが、小学生の男子の部、女子の部、中学生以上の男子の部、女子の部とする。募集人数は、昨年度と同じ。本年度の実績は、出走が、フルマラソン 1,340 人、ミニマラソン 300 人、合計 1,640 人ということだった。

台風 10 号に伴う所管施設の休館等について（各課）

8 月 15 日台風の接近に伴い、図書館では、正午から終日臨時休館とした。休館理由は、来館者は子どもたちや高齢者の帰宅時の安全の確保のため、また、アルネ津山が臨時休館となることなどを総合的に判断した。

文化課所管施設では加茂文化センター、勝北文化センター、ポートアートを休館とした。理由は来館者の安全のため。いずれも施設管理者からの連絡による。スポーツ課所管施設では東体育館を正午から午後 5 時頃まで休館。危機管理室から避難所の指定とすると連絡があり休館扱いとした。

7. その他

(1) 各課からのお知らせ

美作学講座～津山市史関連研究から～について（生涯学習課）

生涯学習課、美作大学、市史編さん室が連携して歴史講座を実施する。9 月 14 日から 3 回にわたり、市史執筆者の方を講師に研究成果を披露していただく。

上廣歴史文化フォーラム「フランス近代史研究の今・むかし」について（文化課）

9 月 8 日 13 時から津山洋楽資料館 GENPO ホールで開催する。内容は、東京大学長井先生による講演、長井先生と東洋大学岩下先生の対談となっている。前半の講演については、NHK ラジオ第 2 放送で放送予定。入場料無料、事前予約不要。

安心・安全連携講座「防災講話 警戒レベル 4！全員避難その時あなたは？」について（図書館）

危機管理室と連携して、新しい警戒レベルの表示方法等を含めて防災講話を 9 月 1 日に開催する。

認知症カフェ in 図書館について（図書館）

津山包括支援センターと連携して、図書館内で 9 月 18 日に実施する。認知症のご家族をお持ちの方、ご本人、認知症カフェがどんなものか知りたいという方にもご参加いただける。

歴史講座「美作の大庄屋」について（図書館）

9 月 15 日と 10 月 13 日の 2 回連続講座として、書籍「美作の大庄屋」の著者を講師とした講座。先着 40 名だが、既に 60 名の申し込みがありキャンセル待ちとなっている。

図書館だより 9 月号について（図書館）

からの行事も含めて行事や日程を掲載し配布している。

津山市教育委員会通信 9 月号について（学校教育課）

津山市学校シンポジウムについて、講演と交流会の様子を記事にしている。また、つやまオープンファクトリーと連携して実施した企業体験バスツアーの様子、マルイ・エンゲージメントキャピタルからの寄附

について、和っしょい！津山カーニバル2019への参加等について記載している。

(2) 次回定例会の開催について

教育委員会規則に毎月第4木曜日が定例会開催日となっていることに基づき、9月は令和元年9月26日(木)午後1時30分から開催。

全員賛成により決定

(3) その他

なし

6. 議事

(3) 報告

プログラミング教育の模擬授業について(学校教育課)

メッシュを使用して模擬授業を実施。

8. 閉会

(15:55)